



「安全・安心・安楽な移乗方法」 患者・利用者さんの視点で見直してみませんか！

- ★人力のみで無理な姿勢や力で移乗させることで、拘縮を持つ患者さんの筋緊張を高めることとなります。
- ★人力での無理な移乗は、高齢者の皮膚損傷を起こしやすくなります。
- ★福祉用具を活用した移乗は、患者・利用者さんの身体的苦痛を軽減でき、気持ち的にも安楽を与えます。
- ★用具を使って心がないケアに見えるのは、用具を使っている側がプロの視点を持ち声かけやタッチングをしていないから。用具があるのに使わないのは、知識がないからで、用具が悪いのではなく、使っている側の理解や知識がないからだと言われています。便利なものも‘厄介なもの’になってしまいます。
- ★「お金がない、場所がない、機械がない、時間がない、指導者がいない」から福祉用具が導入できないとあきらめる前に、できることから少しずつ現場を変えていきませんか。福祉用具は介護保険の活用や、レンタル出来るものもあります。

福祉用具の活用は、看護・介護する側の腰痛予防の観点から取り組みが始まりました。しかし現在は腰痛予防よりも、患者・利用者さんの安全・安楽を考えた観点が重要視されています。近年、積極的に取り組まれている施設もあります。

リフト



スライディングボード



スライディングシート



〔出典・参考資料〕

- ・持ち上げない看護・抱え上げない介護Ⅰ 日本ノーリフト協会 代表保田淳子
- ・‘利用者さんのために腰痛予防よりも、リフトを使うことにしました’
地域密着型特別養護老人ホームいやさか苑 日本看護連盟アンフィニ NO 531